

# エー・アンド・デイ、今期26億円の売上増

## 売上高254億7200万円、東証二部上場後初の決算

### 自動車メーカー、防衛庁から大口受注

(株)エー・アンド・デイ(東京都豊島区東池袋3-23-14、古川陽社長)は、2005年3月期(04年4月~05年3月)の決算を発表した。東京証券取引所二部上場後、初の決算となる今期は、売上高254億7200万円と前期比11.4%増、26億200万円の売上増となった。同社の主力技術であるDSP(計測・制御・シミュレーションシステム)事業と、ロシアを中心とした家庭用血圧計が好調な売れ行きを見せ、ほぼ予想通りの決算となった。当期純利益は14億4000万円(同92.0%増)と前期を大幅に上回った。



古川陽社長

2005年3月期の概況 (単位:百万円)

	2004/3期 (実績)	2005/3期 (実績)	前期比	2005/3期 (予想)	予想比
売上高	22,870	25,472	+11.4%	26,095	-2.4%
営業利益	1,828	2,678	+46.5%	2,623	+2.1%
経常利益	1,427	2,415	+69.2%	2,290	+5.5%
当期純利益	750	1,440	+92.0%	1,338	+7.6%

2005/3期(予想)は04年11月9日の発表

測・計量機器事業は、水分計、ロードセル、電子天びんをはじめ堅調に推移している。とくに電子天びんは、国内市場シェア1位を維持している。これに加え、DSP事業の応用製品が急速に立ち上がったことが増収につながった。売上高は157億4800万円(同9.4%増)。

### 自動車試験機に集まる期待

来期(2006年3月期)の見通しは、売上高300億2500万円(同17.9%増)、営業利益33億4300万円(同24.8%増)、経常利益29億4100万円(同21.8%増)、当期純利益18億3900万円(同27.7%増)と予測している。DSP事業において、同社の技術力が自動車メーカーに認知されたことから、この市場での売り上げを伸ばす。国内では新製品の販売を加速させるとともに、北米での展開も開始する。

### "UDS-1V/1VD"



天和自動車株式会社  
電話 078-918-8577

の新材料試験機市場を開拓し、計量機器は一般消費者向け製品や、粘度系、水分計といった新市場への販路拡大、電子ビーム関連ユニットは、さらなる高性能化を追求する。医療・健康機器は開発中の動脈硬化測定器など、新製品の投入や、中国市場など新たなマーケットに進出する。

医療・健康機器事業は好調で、とくに家庭用血圧計が主にロシアで売りを伸ばし、営業利益は17億2100万円と前期比64.5%増。これは売り上げ増加による量産効果と、海外関係会社への生産移行が進んだ結果、原価低減が実現したという好循環が起ったため。血圧計はロシアで累計約200万

### 特集神奈川

④⑤⑥面

2005年3月期の売上高は254億7200万円(前期比11.4%増)、営業利益は26億7800万円(同46.5%増)、経常利益は2億1500万円(同69.2%増)、当期純利益は14億4000万円(同92.0%増)。新規事業の伸長、既存事業の原価低減により、利益率が向上したことが特筆される。

### 増収の原動力は

#### DSP事業

DSP事業では、従来ターゲットとしてきた自

動車、試験機関連産業で受注がまとまったほか、既存事業の計測機器などにもDSP技術が応用されるようになり、売りに貢献した。既存事業への技術応用としての実績も含めると、DSP事業の今期売上高は22億1600万円と、前期を7億4500万円上回った。内訳は、上期7億2300万円に対し、下期は14億9300万円。これは期末に自衛隊次期輸送機の試験装置(本紙5月15日号既報)など、大口の受注を得たことによる。

事業別に見ると、計

### 今週の主な記事

- ① エー・アンド・デイが決算発表
- ② 計測機器は自動車関連
- ③ 自動車試験機に集まる期待
- ④ 特集神奈川
- ⑤ 資料・計量法施行規則、検則改正令
- ⑥ 私の履歴書 齋藤勝夫の、社説、計量ひとくちメモ
- ⑦ 日本分析機器工業会、45周年記念表彰式開く
- ⑧ 新製品 ニュース・メトロ・トレッド、アタコ

1

2

3

4

5

6